

発展を目指す企業家のための経営指南役

No. 753

平成26年3月10日(月曜日)

社外重役

Selected Clients & Professionals Relationship

発行)株式会社ノースアイランド
 東京本社)東京都千代田区丸の内2-4-1 丸ビル10F
 Tel.03-3216-2004 Fax.03-3216-0439
 大阪支社)大阪府北区中之島3-3-23 中之島ダイビル9F
 Tel.06-6448-2004 Fax.06-6448-0539

経営

ものづくりなでしこJAPANに期待 成長戦略の中核を担う女性幹部ら12人

安倍首相が今年1月の施政方針演説で訴えたのは「すべての女性が活躍できる社会をつくる」だった。すでに機械産業の基幹に不可欠の<素形材>製造に取り組む女性経営者らで作る「ものづくりなでしこJAPAN」は、鋳造や鍛造というお堅い分野の女性リーダーの集まりで、男性社会の素形材産業に新風を巻き起こそうとしている。

「ものづくりなでしこJAPAN」は、経済産業省地域経済産業政策課・課長補佐の伊奈友子さんが、製造業の女性経営者の横のネットワークを繋ごうと2年前に発足した会である。彼女は業界団体(鋳造、鍛造、プレス、熱処理、金型等)との関係が長く信頼も厚い。

その基盤に立って「ものづくり・ことづくり・ひとづくり・地域づくり」を合言葉に、製造業×経営=女性の社会的交流と、女性が稀な分野を掛け合わせたところで活躍する各々の知見を活かして、働く女性のニューヒロイン像を示し、社会進出を後押ししようという試みだ。

同プロジェクトは、鋳造、プレス、メッキ、熱処理など、ものづくり関連企業の12名の女性経営者が中核。出身は全員理系ではないが、技術や経営を学び、出産・子育ても経験、社長業で荒波に揉まれる毎日。製造業の現場を会得して一人で何役もこなす、その役割に加えて、「女性はものづくり産業を救えるか」という熱い期待が集まっている。

税務会計

2014年度の国民負担率は過去最高 租税負担率24.1%など計41.6%に

国民負担率とは、国民所得に対する税金や社会保険料(年金・医療費などの保険料)の負担割合。財務省はこのほど、2013年度の実績見込みでは40.6%だった国民負担率が、2014年度予算では1.0ポイント増の41.6%と過去最高となる見通しを発表した。景気回復や消費税率引上げ等に伴い租税負担率が増加し、2年ぶりに前年を上回る。14年度見通しの内訳は、国税が14.5%、地方税が9.6%で租税負担率が24.1%、社会保障負担率は17.5%。

2013年度実績見込みに比べ、租税負担率は0.8ポイント増(国税0.9ポイント増、地方税は横ばい)、社会保障負担率は0.1ポイント増。社会保障負担は、この統計を開始した1970年以降では最高だった12・13年度(17.4%)をわずかに上回った。

国民負担率を諸外国(11年実績)と比べた場合、アメリカ(30.8%)よりは高いが、フランス(61.9%)、スウェーデン(58.2%)、ドイツ(51.2%)、イギリス(47.7%)などよりは低い。

真の負担率は、財政赤字という形で将来世代へ先送りしている負担額を加える必要がある。

財務省によると、2014年度の国民所得(13年度に比べ7万6千円増の370万5千円)に対する財政赤字の割合は、前年度から1.3ポイント減の10.3%となる見通し。この結果、14年度の国民負担率に財政赤字を加えた「潜在的国民負担率」は、13年度からは0.3ポイント減の51.9%となる見通しだが、引き続き5割を超えている。

今週のキーワード

ものづくりなでしこ JAPAN

メンバー=海内美和(海内工業・精密板金)、伊藤麻美(日本電鍍工業代表取締役・メッキ)、大田久美子(大田鋳造所・鋳造)、小松万希子(小松ばね工業取締役・ばね)、島田佐代(トミナガ・鋳造)、高橋正実(マサミデザイン・デザイナー)、辰巳施智子(辰巳工業代表取締役・鋳造)、松浦幸枝(エノモト・鋳造)、手塚加津子(昭和電気鋳鋼代表取締役・鋳造)、檜垣昌子(山陽プレス工業代表取締役・金属プレス)、渡邊弘子(富士電子工業代表取締役・熱処理)、吉澤和江(太陽堂封筒代表取締役・印刷)(50音順、敬称略)

※配信先の変更、配信停止のご希望はお手数ですが Tel.03-3216-2004 または info@knowsi-land.jp までご連絡ください。